

# みんなで考える過疎地域の生活交通

## 概要

○過疎化の進行、マイカーの普及などによる利用者数の減少により、生活交通の衰退が顕著となっているなか、地域と協働して生活交通体系を維持していくにあたり、様々な取組を実施する。

## 事業の内容

### 事業の内容

- 岡山大学との交通まちづくり共同研究事業
- 情報の共有化事業(「いばら公共交通かわら版」を市広報紙折り込みにより発行:年5回)
- 公共交通シンポジウムの開催(聴講者:101人)
- 公共交通利用のPR(「公共交通利用啓発」ラッピング車両の運行など)
- バス体験学習会の開催(6小学校:受講者234人)
- 公共交通祭りの開催(来場者:約11,000人)

### 総事業費

10百万円

### ポイント

○地域の方々に、まず生活交通に関心を持ってもらうこと、そして利用してもらうこと。

## 事業の成果

○地域と協働して生活交通体系を維持していくために、様々な利用啓発の取組を行ったことにより、地域の方々の生活交通への関心は高まってきている。来年度以降の継続を望む声が聞かれる事業もあり、この生活交通への関心の高まりを、生活交通の利用に繋げ、生活交通体系を維持していきたい。

## 岡山県井原市



公共交通利用啓発  
ラッピング車両



バス体験学習会



いばら公共交通  
かわら版



公共交通シンポジウム



公共交通祭り